麻雀を打とう！
現代麻雀講座

皆さんは、「麻雀」というボードゲームを知っていますか？　麻雀は中国を起源とする長い歴史を持つボードゲームです。「聞いたことはあるけどルールはよく分からない……」「覚えることが多くて難しそう……」という方も多いと思いますが、ご安心あれ。この記事では麻雀の基本ルールから、令和の時代ならではの楽しみ方までご紹介します！　さあ、この記事を読んで皆さんも麻雀デビューを果たしましょう！

（猿田）

※本記事は賭博を推奨するものではありません。

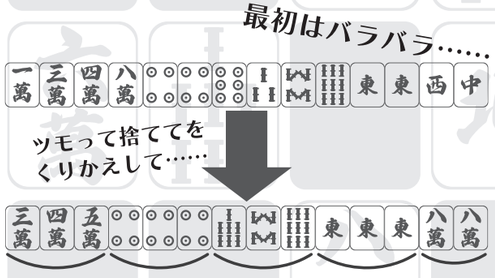
「麻雀」ってどんなゲーム？

麻雀は、基本的には４人で行うゲームです。ゲームが始まるとまずは１人13枚ずつ、最初の手牌（てはい）が配られます。「牌（はい）」とは、麻雀で使用する直方体のこまのことです。詳しくは後ほど解説しますが、麻雀では基本的にこの牌を用いてゲームが行われます。麻雀は、雀卓（じゃんたく）と呼ばれるテーブルの上で行われることが多いですが、雀卓の上には「手牌」「山」「河」３つのゾーンが設定されます。「手牌」は各プレイヤーに配られている13枚の牌、「山」は伏せられた牌が積まれたいわゆる「山札」、「河」は手牌から捨てられた牌がおかれる場所のことです。つまり、麻雀の基本的な動作は、山の決められた位置から牌を拾い（この動作を「ツモる」と言います）、その牌を手牌に入れ、そして手牌の中からどれか１つを自由に選んで河に捨てる、という流れです。この手順を４人でぐるぐると回していき、そして最初の手牌を組み替えながら手牌を「アガリ」の形（後述）に作り上げていくのが麻雀の基本的なやり方です！

そして肝心の牌ですが、牌にもいくつかの種類があります。牌は大きく「数牌（すうはい）」と「字牌（じはい）」の２種類に分けられ、数牌はさらに「萬子（マンズ）」「筒子（ピンズ）」「索子（ソウズ）」の３種類に分けられます。数牌は萬子、筒子、 索子のそれぞれに１～９の牌があり、字牌には「東（トン）」「南（ナン）」「西（シャー）」「北（ペイ）」「白（ハク）」「發（ハツ）」「中（チュン）」の７種類があります。そして、これらすべての種類につき牌は４枚ずつ、つまり麻雀では（３×９＋７）×４＝136枚の牌が使われるんですね！　最初は種類が多く感じられますが、慣れていけばすぐに覚えることができますよ。

山からツモって河に捨ててを繰り返して手牌を「アガリ」へ導くというのが麻雀の超基本的なルールでしたが、では「アガリ」の形とは何を指すのでしょうか？　それはズバリ、「４面子１雀頭（メンツ　ジャントウ）」の形です！　面子とは牌の３個セットのことで、「３、４、５」や「７、８、９」といった階段並びをつくる、あるいは「４、４、４」のように３つ同じ牌を集めてもOKです。雀頭は同じ牌を２つ集めれば良いだけです。ゲーム開始直後の手牌はランダムで配られるためバラバラですが、山からツモって河に捨ててを繰り返しながら「４面子１雀頭」の形を目指しましょう！

最初にこの「アガリ」の形を作り上げた１人のプレイヤーがその局の勝者となり、アガリ形に応じた点数を得ることができます。最初に手牌が配られてから誰かがアガるまでが「１局」で、この局を何局か繰り返して点数を競うのが、麻雀というゲームの全体像です！



「３個セット（面子（メンツ））×４つ」と「２個セット（雀頭（ジャントウ））×１つ」の形を目指そう！

勝敗にかかわる「役」とは？

では、どのような仕組みでアガリ形によって点数が変化するのでしょうか？　そこで重要になるのが「役」です。役とは、アガったときの特定のパターンのこと。例えば右図に示すように、２～８までの数牌のみでアガリの形を作ることができると、「タンヤオ」という役が付きます。他にも、１種類の数牌と字牌のみの「ホンイツ」など、多くの役が麻雀には存在します！　それらの役の中には作るのが簡単な役からめったに作れないような希な役まであり、難しい役でアガることができると獲得できる点数が高くなっていく、という仕組みになっています。

点数が高くなるからといって難しい役ばかり狙っていると他のプレイヤーが先にアガってしまいますし、逆に自分が簡単な役ばかりでアガっていても点数はなかなか伸びません。開始時の手牌や点数状況に応じて狙う役を考えながらプレイすることが重要です！

タンヤオ

２～８の数牌のみで構成される

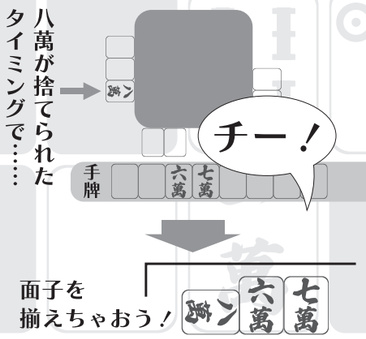
ホンイツ

いずれか１つの種類の数牌と、字牌のみで構成される

ポン！ チー！「鳴き」っていったい何？

麻雀は１番最初にアガったプレイヤーだけが点数を獲得できます。それならば、早いアガリを目指したいですよね！　そんな時に使える技が「鳴き」です。手牌に面子になりかけの２つの牌があるときに、他のプレイヤーが必要な牌を河に捨てたタイミングで「鳴き」を宣言すると、その捨てられた牌を自分の手牌に拾ってくることができるんです！　同一の牌で構成する面子（刻子（コーツ））を作るときには「ポン！」と、階段の面子（順子（ジュンツ））を作る時には「チー！」と発声しましょう。チーは左隣のプレイヤーからしか出来ないことには注意が必要です。

しかし、鳴きをすると無効になってしまう役があったり、点数が下がってしまう場合もあります。ルールを覚えつつ、適切に鳴いていきましょう。



M.LEAGUEを観よう！

Mリーグとは、史上初の企業が協賛する麻雀のプロリーグで、AbemaTVで無料配信されている麻雀番組です！　各麻雀プロ団体から選りすぐりのトッププロたちがチームを組み、半年以上もの期間対抗戦を行います。次の2025-26シーズンも、今年の秋から予定されています！　まるでプロスポーツのような実況解説や、近未来感溢れる演出にも目を見張る最大規模の麻雀番組「Mリーグ」は、まさに「観る麻雀」を新たな次元へと進めています！

スマホでお手軽に麻雀プレイ♪

「いきなり麻雀をやるのはハードルが高い……」そんな方におすすめなのが、スマートフォンでプレイすることもできる麻雀ゲームです！　アシスト機能をつければほとんどの操作が自動で行われ、ゲームの中で大事な場面も逃さないように表示してくれます。麻雀を一緒にやるための人数が足りなくても、オンラインで全国のライバルと麻雀をプレイできますし、コンピューターと対戦することもできます。初心者はまずゲームから！　ゲームを通じてあなたも麻雀の世界に。